



日	月	火	水	木	金	土
1	2	3 ■健康・栄養相談 (①10時②13時 30分うらら) ■母親教室① (18時うらら)	4 ■みんなのカフェ 「かなえーる」 (13時30分公民館)	5 ■母親教室② (10時ひだまり) ■夜間町長室開放	6	7
8 ■講演会「絵本と鳥の巣の不思議」 (9時青少年研修館) ■図書館閉館日 (10時～17時図書館)	9 【スポーツの日】	10 ■健康・栄養相談 (①10時②13時 30分うらら) ■若がえり学級 (10時公民館) ■しゃきつと倶楽部 (10時公民館) ■バス定期販売延長営業日 (20時まで商工会)	11 ■夜間納税相談・ 収納窓口開設 (17時30分～20時)	12	13	14
15 ■生ごみ堆肥無償還元 (9時置戸町堆肥供給センター)	16 ■わくわく幼年消防クラブ 防火パレード	17 ■健康・栄養相談 (①10時②13時 30分うらら)	18	19	20	21 ■訓中学校祭
22	23 ■6か月児・1歳児健康相談 (9時30分ひだまり)	24 ■健康・栄養相談 (①10時②13時 30分うらら) ■若がえり学級 (10時公民館)	25	26 ■2歳児健康相談 (9時30分うらら5) ■秋の文化祭文化展 (～11月1日公民館)	27	28 ■訓小学芸会
29 ■居小学芸会	30	31 ■健康・栄養相談 (①10時②13時 30分うらら)				



訓子府の子どもたちと屯田兵の碑を見学

訓子府町の児童4人が交換留学生として訪問中の8月1日に、北海道と津野町の交流の歴史を伝える時間として屯田兵の碑を見学しました。

樺の川地区の棚田は、谷沿いの急斜面に石を積み上げて作られ、北海道の広い平野ではまず見られないものです。

この樺の川地区の上に、「屯田兵の碑」と人々から呼ばれている石碑があります。この碑は樺の川出身の大崎国太郎氏の慰霊碑で経歴も彫り込まれており、「北海道」や「屯田兵」の文字を通して、国太郎氏が明治27年、北

海道空知郡へ屯田兵として向かったことが記されています。

津野町からの北海道移住は明治23年に受けた台風被害を機に盛んになっていきましたが、国太郎氏のように屯田兵として北海道へ向かった人々も相当数に含まれています。

130年前より始まった北海道との交流の歴史を、現代の子どもたちに伝える貴重な機会となりました。



8月11日から
9月10日受付分

ごめい福をお祈りします

前野 徳雄さん 83歳 実郷
穴戸 トシさん 89歳 西幸町
岩本美代子さん 94歳 清住
山川 俊幸さん 87歳 高園
龍田 シメさん 89歳 若富町
山本 光子さん 76歳 東幸町
奥村 弘治さん 81歳 穂波

ご寄付 ありがとうございます

▷企業版ふるさと納税
株式会社北洋銀行様

▷給食食材として(ジェラート)
合同会社ミルククラウン様
(給食センター・こども園)

▷図書を
石川 晃太さん 東町
本田 初美さん 湧別町
(図書館)

▷香典返しにかえて
山川 勝子さん 高園
穴戸八男治さん 西幸町
前野 昭男さん 江別市

龍田 育茂さん 札幌市
山本 康彦さん 東幸町
奥村 照江さん 北見市
▷お世話になったため
大島 一恵さん 末広町
(社会福祉協議会)

※ふるさとおもいやり寄付につきましては、町のホームページにお名前を掲載しています。

※慶弔欄につきましては、本町に住所があって、町外で届け出をされた方で、掲載ご希望の方は、町民課戸籍年金係、または総務課広報IT推進係までご連絡ください。

訓子府町民憲章

1. 自然の恵みに感謝し、美しい町をつくりまします。
 1. 元気に働き、豊かな町をつくりまします。
 1. きまりを守り、明るい町をつくりまします。
 1. たがいに助け合い、楽しい町をつくりまします。
 1. 未来に希望をいだき、文化の町をつくりまします。
- 【昭和45年8月1日制定】

使用料などの納期限

10月25日	こども園保育料、こども園給食材料費、児童クラブ保育料、学校給食材料費、上下水道料金、特定公共賃貸住宅使用料、町有住宅貸付料
10月31日	町営住宅使用料、定住促進住宅使用料、国民健康保険税(第5期)、介護保険料(第5期)、後期高齢者医療保険料(第4期)



▶9月17日に「秋だよ！銀河公園まつり」が開催されました。家族連れを中心に大勢の来場者が訪れ、訓子府の秋を満喫しました。
▶これから実りの秋を迎えます。季節の移り変わりを感じながら、秋の味覚やスポーツ、読書などを楽しみたいですね。